

接続詞でつなぐ・話す (標準)

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: 譲歩と理由を組み合わせ、相関接続詞で2つの長所を並べて伝えられる

モデル モデル (先輩の書いた例。声に出して1回読もう)

Though our club is small, it is not only friendly but also serious about practice.

うちの部は小さいけれど、雰囲気がいだけでなく練習にも真剣だ。

I joined it because I wanted to try something new in high school.

高校で何か新しいことをやってみたくて入部した。

My friend asked me whether she should join, and I said that she would enjoy it.

友だちに入ろうかどうか聞かれたので、きっと楽しめると答えた。

型で書く 型で書く—譲歩・理由・伝えたことば 思考・判断・表現

内容は自由。形だけ型どおりに。書けたら隣の人と交換して、節の中がS+Vになっているかだけをチェックし合おう。気づき: (3)の said that のうしろは、主節が過去なので言った時点に立って言い直します。今も変わらないことなら現在形のままでかまいません。

(1) Though _____, _____. 「~だけれど」で始める1文

(2) I _____ because _____. 理由をつけた1文

(3) My friend asked me whether _____, and I said that _____. だれかとのやりとり

ペアで話す ペアで話す—「どっちだと思う？」インタビュー

交代で質問→答えは1文+ひとこと補足。答えに Why? か Do you really think so? を1回は返す。気づき: 質問が whether で来たら、答えも I think that ... の形で返すときれいにそろいます。

(1) Do you think that our school should have more club activities?

うちの学校は部活をもっと増やすべきだと思う?

(2) I wonder whether studying at home is better than studying at school. What do you think?

家で勉強するのと学校で勉強するの、どちらがいいと思う?

(3) Could you tell me why you chose this high school?

この高校を選んだ理由を教えて?

(4) Which club is not only fun but also good for you?

楽しいだけでなく、ためにもなる部活は?

あいづち・返しの型: Why? Do you really think so? I agree with you. I see your point. Same here.

接続詞でつなぐ・話す (標準) | 自分の番

年 組 番 名前 _____

書く 自分の番—60語前後で書く 思考・判断・表現

Write about a club or a class you would recommend. (人にすすめたい部活か授業について書く)

①何をすすめるか (I think that ...) ②いいところを2つ (not only A but also B) ③よくない点も1つ認める (Though ...) ④それでもすすめる理由 (because ...) —の4段で、60語前後。節を使った文を3つ以上入れる。

評価 先生はここを見ます (加点式)

名詞のはたらきをする節と副詞のはたらきをする節が両方ある	+4点
not only A but also B のAとBの形がそろっている	+3点
自分にしか書けない具体がある (部の名前・活動・回数)	+2点
50語以上書けている	+1点

※減点式にしない—書いた量と伝わった中身を評価します。細かい誤りは返却後の書き直しで扱います。

振り返り ペアで読み合って、相手の文でいちばん良かった1文をメモ